

Innovation

CTOメッセージ



執行役シニアバイスプレジデント
チーフテクノロジーオフィサー(CTO)

ラリー・マイクスナー

従業員に新しい展望を開くとともに、全てのステークホルダーに対して事業の持続的成長と価値を提供し続けていきます

イノベーションのめざすべき方向性

三菱ケミカルグループは、新組織「イノベーション」のもとで、次のようなめざすべき方向性を掲げ、グループ一丸となってイノベーションの質とスピードを向上する取り組みをスタートしました。

1つ目として、イノベーションの方向性を新経営方針「Forging the future 未来を拓く」と強く結び付けていきます。今はこれまでのイノベーション活動を再評価し、加速や方向転換など今後の方向性を明確にする絶好の機会と捉えています。

2つ目に、私たちのイノベーションは社内のR&Dにとどまらないということを強く認識し、ベンチャー企業との共同開発、大学や企業、外部組織とのパートナーシップといったさまざまな「ツール」を効果的に組み合わせたイノベーション戦略を策定します。フォーカスする市場によって取るべき施策の最適な組み合わせは異なるため、それぞれの「ツール」を効果的に用いながら、統合的なイノベーション戦略を策定していきます。

3つ目は、業務の効率化と合理化です。2022年4月、横浜にあるScience & Innovation Center に現代的でグローバルな交流スタイルに特化した研究棟を新設しました。この施設を効果的に活用することで、従来の地域別ではなく市場や技術ごとに活動を集約し、統合させることが可能となります。各R&D拠点

が地域を越えて当社グループ全体のイノベーション戦略に最適な形で貢献できるよう、集中的に取り組んでいきます。

4つ目に、組織間のコミュニケーションを強力に推進し、ダイバーシティについてこれまで以上に取り組みます。イノベーションは、異なる視点を共有し、従来の考え方を覆すことで生み出されます。また、今後重要な市場は全てグローバルであり、日本市場だけでは必要な成長を実現できません。当社グループの海外のイノベーション拠点はまだ少ないですが、私たちが日本で築いてきた技術とグローバル・イノベーションの視点を組み合わせれば、かつてない成果を得られると考えています。

イノベーションが拓く未来

変化にはチャンスが伴うとよく言われます。いま当社グループは、新たな経営方針、戦略、経営陣と運営体制など、大きな変化のときを迎えています。成長機会の獲得にはM&Aなども重要ですが、今も昔もイノベーションが主要な原動力であることは間違いありません。私たちは、新経営方針に沿ったイノベーションを重視し、イノベーションに対する近代的かつグローバルなアプローチに積極的に取り組むことで、劇的な変化の時期にもたらされた大きなチャンスを掴み取りたいと考えています。